

# 東北地方太平洋沖地震によるいわきの現況

平成23年 5月19日

いわき災害対策地方本部

## 1 被害状況

(1) 住民被害 (5月17日 16時現在)

- ・死者 303名 (中央署管内261名、東署管内30名、南署管内12名)  
※南署管内 12名中3名は、4月11日の余震に伴う死亡
- ・行方不明者 調査中
- ・火災発生 11件 うち鎮火 11件  
※4月11日の余震に伴う火災は2件
- ・住家被害 18,090棟 (※現在調査続行中。)

### <参考>

16,695棟 (5月11日 16時30分現在)

(全壊：4,590棟、半壊：7,162棟、一部破損：4,943棟)

(2) 農林被害 (5月13日現在)

区 分	箇所数等	被害額 (千円)
農業等被害	22 件	628,131
農業関係施設	22 件	578,386
農地等被害	300 箇所	2,196,000
農地	56 箇所	1,200,000
水路	141 箇所	193,000
道路	54 箇所	33,000
ため池	26 箇所	103,000
頭首工	7 箇所	208,000
揚水機	9 箇所	190,000
橋梁	2 箇所	69,000
湖岸堤防	- 箇所	-
農業集落排水施設等	5 箇所	200,000
海岸保全施設	- 箇所	-
林業等被害	187 箇所	421,875
森林	3 箇所	61,793
林産物等	(1 式)	19,119
林産施設等	16 箇所	214,113
林道	168 箇所	126,850
治山被害	17 箇所	1,339,000
林地	- 箇所	-
治山施設	17 箇所	1,339,000
計	526 箇所	4,585,006

## (3) 水産被害 (5月10日 11時現在)

種別	箇所数	被害額
水産関連施設	522箇所	6,700,980 千円
養殖水産物等(腐敗冷凍品含む)	910トン	133,250 千円
漁船	297隻	3,671,610 千円
合計		10,505,840 千円

## (4) 土木被害 (4月21日現在)

区分	県所管分		市所管分	
	箇所数	概算金額 (千円)	箇所数	概算金額 (千円)
河川	58	3,492,000	51	1,462,000
海岸	51	9,983,300	-	-
砂防	1	15,000	-	-
道路	82	1,377,800	414	3,010,000
橋梁	7	1,139,000	25	860,000
湾岸	4	30,811,013	-	-
漁港	5	2,296,000	-	-
下水道	-	-	7	4,696,100
公園	12	150,000	16	372,000
都市建設	1	115,000	20	3,013,500
公営住宅	25	188,244	-	-
計	246	49,567,357	533	13,413,600

## ※4月11日発生之余震による土木被害 (4月18日 17時現在)

区分	県所管分		市所管分	
	箇所数	概算金額 (千円)	箇所数	概算金額 (千円)
河川	3	44,000	5	30,000
海岸	-	-	-	-
砂防	-	-	-	-
道路	15	2,210,000	54	221,000
橋梁	1	50,000	2	390,000
湾岸	-	-	-	-
漁港	-	-	-	-
下水道	-	-	7	372,000
公園	-	-	1	40,000
計	19	2,304,000	69	1,053,000

(5) 工業用水道被害 (5月6日現在)

区 分	内 容	箇所数
磐城工業用水道 (40事業所)	導水路(ダム～泉浄水場)	14
	配水路・常磐線(泉浄水場～企業)	12
	磐城線( " )	30
	大剣線( " )	3
勿来工業用水道 (7事業所)	配水管・山田系(勿来ポンプ場～企業)	7
	日呉系( " )	3
小名浜工業用水道 (5事業所)	ポンプ場 津波により被災	
	配水管(小名浜ポンプ場～企業)	10
好間工業用水道 (10事業所)	導水路(赤井取水場～好間浄水場)	1
計		80

2 避難住民の状況

(1) いわき市内の避難施設

- ・ 36箇所 1, 370 (うち久之浜152)人 (5月14日16時現在)  
【いわき市1, 040 (うち久之浜152人)、楢葉町126人、広野町54人、富岡町89人、浪江町25人、その他57人】※内訳は5月13日17時現在
- ・ 100人以上の避難所9箇所に県職員を派遣  
【中央台東小、中央台南小、内郷コミュニティセンター、御厩小、江名小、平体育館、関船体育館、四倉高校、平工業高校】(各1～3名配置)
- ・ 物資、食料等は、当面の必要数が確保できており、受入を一時中止 (5月1日現在)

(2) いわき市民の市外への自主避難等 (5月3日県とりまとめ)

- ・ 県内：1, 293人 (除いわき市)  
(郡山市266人、会津若松市96人、須賀川市213人、石川町128人等  
全31市町村)
- ・ 県外：3, 812人  
(北海道24人、青森県11人、岩手県4人、秋田県124人、新潟県1, 095人、東京都10人、神奈川県129人、千葉県9人、長野県130人、群馬県489人、埼玉県301人、栃木県320人、茨城県1, 256人、京都府9人、和歌山県3人、滋賀県19人、山口県4人、愛媛県14人、福岡県3人、大分県2人、鹿児島県8人)
- ・ 9県 (山形県、新潟県、群馬県、栃木県、茨城県、埼玉県) に連絡員 (活動支援班 (県外避難者支援担当)) を派遣。千葉県、東京都、神奈川県は東京事務所対応。

3 避難民住宅対策

(1) 県営住宅の対応 (4月15日現在)

- ・ 提供する住宅：23戸
- ・ 第1回募集 11戸 (広野町民5戸、楢葉町民6戸)

(2) 一時提供住宅の対応 (5月11日現在)

一時提供住宅 (雇用促進住宅、民間借り上げ住宅及び応急仮設住宅) の一次募集について

は2,681人(いわき市民2,049人、いわき市民以外632人、キャンセル405人)、二次募集については250人の応募があった。一次募集に係るいわき市民のうち357人が雇用促進住宅、620人が民間借上住宅に入居手続完了している。

なお、民間借上げ特例措置型については、市で処理困難のため県職員による支援を行う。

①雇用促進住宅(4月28日現在) 修繕後に入居可能数781戸

②民間借上住宅(4月26日現在) 935戸の確保

③仮設住宅(5月11日現在)

要請市町村	要請戸数	建設場所	建設戸数	着工、完成
いわき市	820	中央台高久	120	4月28日 完成
		"	69	5月3日 着工
		好間町上好間団地 多目的交流広場	77	5月13日頃 着工
榎葉町	700	中央台高久	21	5月13日頃 着工
		"	20	5月13日頃
		中央台飯野	16	5月13日頃
		平泉立いわき公園	123	5月10日
広野町	500	中央台高久	48	5月8日 着工
		"	50	" 着工
			103	" 着工
		"	19	5月13日頃 着工
		中央台鹿島	18	" 着工
富岡町	200			
双葉町	55			
大熊町	100			
川内村	20			

(3) 旅館・ホテルの借上(5月11日現在)

避難所で生活をしている被災者が、県で指定する県内の旅館やホテル等に移転した場合に公営住宅や仮設住宅に入居するまでの間、県が1泊3食5千円を限度として、部屋を借り上げて無料で提供する。(全県28,627人分、いわき市623人分)

なお、いわき市においては、いわき市民及び富岡町民について、今後旅館・ホテルへの二次避難を実施すべく準備を進めている。(広野町については「スパリゾートハワイアン」に、榎葉町については「中の湯旅館」に二次避難の予定)

#### 4 災害廃棄物処理の状況

(1) 発生量予測

約88万t(全壊、半壊 約11,000戸 5月11日現在)

(2) 処理状況

①津波被害地区(四倉、久之浜・大久地区、平地区、小名浜地区、勿来地区)

- ・いわき市土木部対応
- ・建設業者が、がれきを撤去作業後、7箇所の仮置場に搬入。建物所有者が解体作業に係る承諾・不承諾の意向を建物に表示
- ・原則として毎日曜日は作業を休止

② ①以外の地区

- ・いわき市生活環境部対応
- ・家庭から排出される災害廃棄物を4品目（コンクリートくず、不燃物、可燃物、家電）に分別し、仮置場に各自持ち込み
- ・仮置場は勿来市民運動場、小名浜臨海工業団地北緑地グラウンド、四倉仁井田運動場の3箇所であったが、北緑地グラウンド、仁井田運動場が満杯となったため小名浜港運動施設（ソフトボール場）、四倉市民運動場を追加

※浜通り及び中通り地方にある災害廃棄物については、当面仮置場からの移動、処分は行わず、5月第2週から環境省等が放射能濃度等の調査を行った上で、処理方法等の検討を行うこととされた。

5 インフラの復旧状況

(1) 高速道路（4月28日現在）

- ・常磐道いわき四倉IC～広野IC間が4月28日通行止め解除
- ・広野IC～常磐富岡IC間については、通行止め解除の見通しが立たない状況

(2) 国道6号（4月24日現在）

- ・いわき市四倉町～久之浜町（214.60KP～218.30KP、津波冠水、瓦礫、法面亀裂）の3.7km区間が10日午後に車両通行止めが解除された。
- ・広野町～南相馬市間については、4月22日に現地調査実施。復旧作業は未着手

(3) 県道（県管理道路通行規制箇所）（5月13日現在）

NO.	路線名	規制区間	規制期間	規制内容	現在の状況
1	豊間四倉線 382号線	平豊間字兔渡路 地先から 四倉町東2丁目 地先まで	3月11日から 当面の間	通行止 (全線)	下大越、薄磯地内の応急工事。5月上旬発注完了。工事着手。
2	小野四倉線 41号線	上小川 地先から 上小川 地先まで	3月11日から 当面の間	通行止 (迂回路有り)	応急工事実施中。5月下旬完了予定
3	湯ノ岳別所線 371号線	内郷高野町川平 地先から 常磐藤原町湯ノ岳 地先まで	3月11日から 当面の間	片側交互通行	4月21日全面通行止めから片側交互通行へ切替済み
4	泉岩間植田線 239号線	小浜町東ノ作 地先から 佐糠町1丁目 地先まで	3月11日から 当面の間	通行止	海岸護岸の応急工事は5月中旬入札完了。擁壁被害により当面の間通行不可
5	日立いわき線 10号線	植田町西荒田 地先から (植田跨線橋) 地先まで	3月11日から 当面の間	通行止	応急工事6月下旬発注予定
6	いわき上三坂小野線 20号線	遠野町入遠野 地先から 遠野町入遠野 地先まで	3月11日から 当面の間	片側交互通行	災害復旧工事により施工予定。当面の間片側交互通行継続

<4月11日発生地震による追加箇所>

7	いわき石川線	渡辺町上釜戸字瀬峰	地先から	4月11日から	通行止	応急工事早期発注 に向け調査継続中
	14号線	渡辺町上釜戸字瀬峰	地先まで	当面の間		
8	いわき石川線	遠野町根岸字下根岸	地先から	4月11日から	通行止	応急工事5月下旬 発注予定
	14号線	石川郡古殿町松川	地先まで	当面の間		
9	勿来浅川線	川部町字松ノ下	地先から	4月11日から	通行止	災害復旧工事によ り施工予定。当面 の間現状のまま
	71号線	市川部町字北ノ内	地先まで	当面の間		
10	才鉢前山線	田人町才鉢	地先から	4月11日から	通行止	落石対策工事施工 中。 当面の間通行不可
	390号線	市田人町貝泊	地先まで	当面の間		

通行止：7路線、8箇所、片側交互通行：2路線、2箇所

(4) 港湾施設 (5月13日 15時現在)

地区	施設	暫定供用時期	供用時期
3号ふ頭	1、2号岸壁	未定	未定
	3、4号岸壁	-	H25. 2~
4号ふ頭	2号岸壁	-	H24. 8~
	3号岸壁	H23. 6~	H25. 4~
	4-6号岸壁	H23. 5. 13~ 利用再開	未定
5号ふ頭	1号岸壁	H23. 5. 13~ 利用再開	H25. 2~
6号ふ頭	1号岸壁	H23. 7~	H25. 2~
	2号岸壁	-	H24. 6~
	3号岸壁	H23. 4. 7~ 利用再開	
7号ふ頭	1号岸壁	H23. 7~	H25. 3~
	2号岸壁	-	H24. 8~
	3号岸壁	-	H24. 6~
	4号岸壁	H23. 4. 7~ 利用再開	H25. 4~
	5号岸壁	H23. 5. 13~ 利用再開	H24. 6~
藤原ふ頭	1号岸壁	H23. 3. 16~ 利用再開	H24. 4~
	2号岸壁	H23. 3. 16~ 利用再開	H25. 3~
	3号岸壁	-	H24. 5~
	4号岸壁	H23. 5. 13~ 利用再開	H24. 6~
大剣ふ頭	1号岸壁	H23. 5. 13~ 利用再開	H24. 4~
	2号岸壁	-	H24. 4~
	3号岸壁	H23. 6~	H25. 3~
	4号岸壁	-	H25. 3~
	5-6号岸壁	H23. 5. 2~ 利用再開	供用しながら 復旧工事

(5) 工業用水道 (5月12日 17時現在)

- ・磐城工水：管漏水56箇所中48箇所復旧。小名浜合板を除き給水中。漏水の著しい2区間（用水橋、下川地内）は、今月中旬の本復旧を目指す。
- ・勿来工水：管漏水9箇所中6箇所復旧。仮設管により給水中。沼部水管橋については、来週中に復旧工法を決定
- ・小名浜工水：管漏水9箇所中4箇所復旧。5月18日に通水試験の予定
- ・好間工水：管漏水1ヶ所復旧中。被害軽度につき運転中

## 6 産業の状況（関係団体からの聞き取り結果等による。）

### （1）農業（5月10日現在）

地震・津波、余震により、農作業全体が、全域で10日程度の遅れが生じている。

岩間、須賀地区等では、液状化や塩害・がれきの残置により、作付できず、田人地区の一部でも、土砂の崩落や断層の発生により作付が困難となっている。

さらに、原子力発電所の放射能事故により、野菜やきのこ等の農産物について出荷及び摂取制限が指示されていたが、現在は、たけのこを除いて解除されている。

しかしながら、今年度の稲の作付の見送りや、今後生産する農作物への影響についての不安を訴える農家が多い状況にある。

### （2）林業（5月10日現在）

林道・作業道が、路肩の崩落や落石等のために寸断され、通行不能な箇所がある。

仮設住宅、燃料用等の木材需要の高まりを受け、一部では伐採・搬出作業が再開され始めているが、必要量を供給できない状況にある。なお、震災以降、木材市場においても、原木の入荷は少ない。

このほか、海岸防潮林被災し、公益的機能が低下しており、復旧を要する。

### （3）畜産業（5月10日現在）

原発事故による放射能の影響で生草を給餌できないので、昨年の干草を与えているが、残量がわずかで先の見通しが立たない。

また、配合飼料の入荷も少なく、購入するにも経済的に厳しい状況であり、牛の健康状態はあまり良くない。

さらに、風評被害に伴い、家畜の取引価格が下落しており、経営資金や施設の維持などで厳しい経営状況にある。

### （4）水産業（5月10日現在）

震災により漁業関連施設の約8割（半壊以上）、漁船の約7割が被害を受ける中、漁業者は原発事故で休漁を余儀なくされ、漁業収入が途絶え、漁協の財務も逼迫している。

また、漁業者は漁業再開の目処を早急に立てるため、海水や水産物の検査体制の強化、荷さばき施設等の早期整備に関する要望が強い。さらに、水産物加工業者は風評被害等による事業の停滞に困窮している。

### （5）製造業（5月10日現在）

7～8割の企業は操業再開しているが、工業用水道、小名浜港湾等の復旧の遅れ、資材不足などから、通常稼働までには至っていない企業が多い。

また、工業製品についても、海外、顧客から放射線量の測定を求められるケースが増加している。

### （6）観光業（5月10日現在）

「アクアマリンふくしま」、「いわき・ら・ら・ミュウ」、「スパリゾートハワイアンズ」等の主要観光施設が被災し、また、原発事故にかかる風評被害もあって、観光客の誘致が困難な状況にある。

ホテル、旅館、民宿では、建物・設備に多大な被害を受け、再開に時間がかかったり、再開の目途が立たないところが数多くある一方で、再開できたところでは多くの店舗が原発工事関係者の受入れを行っている。

(7) 小売業 (5月10日現在)

津波により商店街自体が壊滅した地区、津波や原発事故風評被害により顧客が激減した商店街がある。比較的風評被害を感じていない商店街もあるものの、大半の商店街では先行きに不安を感じている。

(8) 運送業 (5月10日現在)

トラック事業者は市内に200社、約4,500台あるが、小名浜臨港工業地帯や小名浜港が甚大な被害を受けたため、これまで運搬していた工業製品や水産加工品等の運搬が無くなり厳しい状況。また、県外への運搬の際に福島やいわきナンバーのトラックは他のナンバーのトラックに積み荷を載せかえる等風評被害の影響が出ている。

(9) 建設業 (5月6日現在)

現在、瓦礫撤去の作業を行っているが、膨大な量があり、処理期間がどのくらいかかるか見通せない状況にあり、かつ瓦礫の処分場が不足しており、国、県において瓦礫の効率的な処分方法の提示を求めている。

また、震災による工事中止に伴う入金が遅れが生じており、長引く余震や福島第一原発の事故の影響で民間工事などの新規受注等が見込まれなく、財務面では非常に厳しい状況にある。

## 7 雇用状況

(1) 職業紹介状況 (3月28日～5月8日)

- ・新規求職者数 5,694人
- ・新規求人数 3,827人
- ・就職件数 859人

(2) 震災に伴う企業整備状況 (10人以上の解雇 予定を含む)

- ・3月分 (3/11以降) 10件 1,021人
- ・4月分 (5/13現在) 2件 40人
- ・5月分 (5/13現在) 2件 13人

(3) 震災に伴う新規高卒者内定取消等 (4月30日現在)

- ・内定取消 19社 38人 (うち高卒者 37人)
- ・採用日繰下 78社 124人 (うち高卒者117人)

(4) 震災に伴う雇用調整助成金の相談・受理 (5月8日現在)

- ・相談件数 2,747件
- ・計画届け受理件数 444件
- ・計画対象人員 12,301人

(5) 緊急雇用

【いわき市】

- ・市単独事業 雇用枠：65人  
内定取消となった方及び新卒未内定者を、震災復興に関連する業務に従事する市の臨時職員として採用
- ・緊急雇用創出基金事業 : 52事業、311人

- ・緊急雇用創出基金事業（震災対応）：34事業、264人  
（災害廃棄物仮置場事業：搬入受付、巡回監視、その他管理業務）

【いわき地方振興局】

- ・緊急雇用創出基金事業（震災対応）：3事業、6人（予定）



**福島県復興ビジョン検討委員会  
現地視察資料**

平成23年5月19日(木)

**福島県いわき建設事務所**

# いわき建設事務所管内 被害報告

平成23年4月18日現在

■災害発生日:平成23年3月11日

■災害発生日:平成23年4月11日

■被災額計

	福島県		いわき市		合計	
	箇所数	金額(千円)	箇所数	金額(千円)	箇所数	金額(千円)
道路	82	1,377,800	414	3,010,000	496	4,387,800
橋梁	7	1,139,000	25	860,000	32	1,999,000
河川	58	3,492,000	51	1,462,000	109	4,954,000
海岸	51	9,983,300			51	9,983,300
砂防	1	15,000			1	15,000
下水道			142	4,691,000		
公園	12	150,000	16	372,000	28	522,000
合計	211	16,157,100	648	10,395,000	859	26,552,100

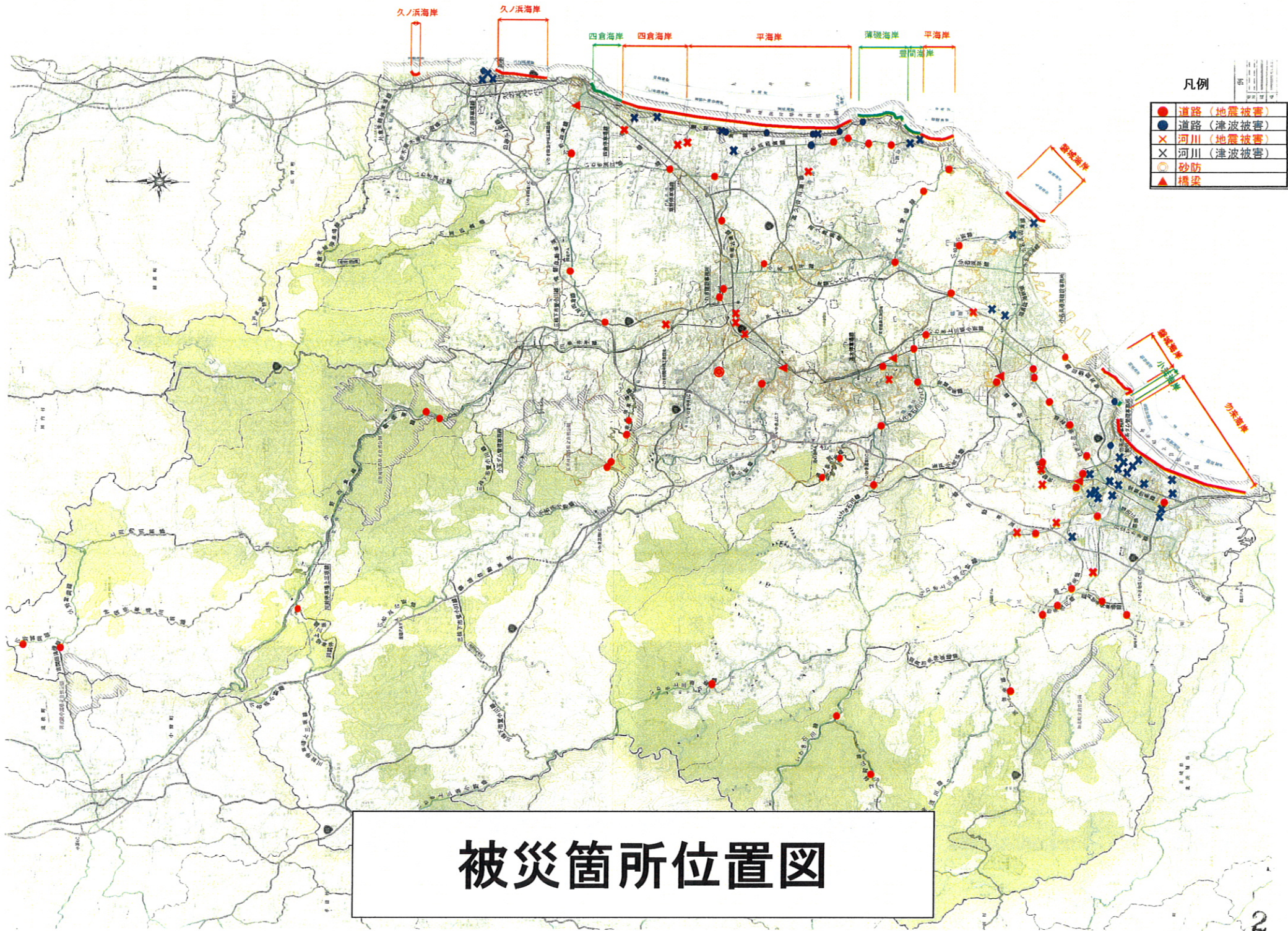
	福島県		いわき市		合計	
	箇所数	金額(千円)	箇所数	金額(千円)	箇所数	金額(千円)
道路	15	2,210,000	54	221,000	69	2,431,000
橋梁	1	50,000	2	390,000	3	440,000
河川	3	44,000	5	30,000	8	74,000
海岸						
砂防						
下水道			7	372,000	7	372,000
公園			1	40,000	1	40,000
合計	19	2,304,000	69	1,053,000	88	3,357,000

	福島県		いわき市		合計	
	箇所数	金額(千円)	箇所数	金額(千円)	箇所数	金額(千円)
道路	97	3,587,800	468	3,231,000	565	6,818,800
橋梁	8	1,189,000	27	1,250,000	35	2,439,000
河川	61	3,536,000	56	1,492,000	117	5,028,000
海岸	51	9,983,300	0	0	51	9,983,300
砂防	1	15,000	0	0	1	15,000
下水道	0	0	149	5,063,000	149	5,063,000
公園	12	150,000	17	412,000	29	562,000
合計	230	18,461,100	717	11,448,000	947	29,909,100

# いわき建設事務所管内 通行規制状況

平成23年5月13日現在

No.	路線名	規制区間	規制期間	規制時間	規制内容	現在の状況	備考
1	豊間四倉線 とよまよつくらせん	いわき市平豊間字現渡路 いわき市四倉町東2丁目	地先から 地先まで	平成 23年 3月 11日から 当面の間	時 分から 時 分まで	通行止 (全線)	下大越、薄磯地内の応急工事 5月上旬入札完了 工事着手
2	小野四倉線 おのよつくらせん	いわき市上小川 いわき市上小川	地先から 地先まで	平成 23年 3月 11日から 当面の間	時 分から 時 分まで	通行止 (迂回路あり)	応急工事施工中 5月下旬完了予定 迂回路:母成林道(大型車通行不可)
3	湯ノ岳別所線 ゆのたけべつしよせん	いわき市内郷高野町川平 いわき市常盤藤原町湯の岳(丸山公園)	地先から 地先まで	平成 23年 3月 11日から 当面の間	時 分から 時 分まで	片側交互通行	4月21日全面通行止めから 片側交互通行に切替え済み
4	泉岩間植田線 いずみいわまうえだせん	いわき市小浜町東ノ作 いわき市佐糠町1丁目	地先から 地先まで	平成 23年 3月 11日から 当面の間	時 分から 時 分まで	通行止	海岸護岸の応急工事は5月中旬入札完了 擁壁被災により当面の間通行不可
5	日立いわき線 ひたちいわきせん	いわき市植田町西荒田 (植田跨線橋)	地先から 地先まで	平成 23年 3月 11日から 当面の間	時 分から 時 分まで	通行止	応急工事6月下旬発注予定
6	いわき上三坂小野線 いわきかみみさかのせん	いわき市遠野町入遠野 いわき市遠野町入遠野	地先から 地先まで	平成 23年 3月 11日から 当面の間	時 分から 時 分まで	片側交互通行	災害復旧工事により施工予定 当面の間片側通行継続
＜4月11日発生地震による追加箇所＞							
7	いわき石川線 いわきいしかわせん	いわき市渡辺町上釜戸字瀬峰 いわき市渡辺町上釜戸字瀬峰	地先から 地先まで	平成 23年 4月 11日から 当面の間	18時 00分から 時 分まで	通行止	応急工事早期発注に向け 調査継続中 迂回路:国道49号,国道289号 (迂回路案内板設置済み)
8	いわき石川線 いわきいしかわせん	いわき市遠野町根岸字下根岸 石川郡古殿町松川	地先から 地先まで	平成 23年 4月 11日から 当面の間	18時 00分から 時 分まで	通行止	応急工事5月下旬発注予定 迂回路:国道49号,国道289号 (迂回路案内板設置済み)
9	勿来浅川線 なこそあさかわせん	いわき市川部町字松ノ下 いわき市川部町字北ノ内	地先から 地先まで	平成 23年 4月 11日から 当面の間	18時 00分から 時 分まで	通行止	災害復旧工事により施工予定 当面の間現状のまま
10	才鉢前山線 さいばちまえやません	いわき市田人町才鉢 いわき市田人町貝泊	地先から 地先まで	平成 23年 4月 11日から 当面の間	21時 30分から 時 分まで	通行止	落石対策工事施工中 当面の間通行不可



凡例

●	道路 (地震被害)
●	道路 (津波被害)
×	河川 (地震被害)
×	河川 (津波被害)
○	砂防
▲	橋梁

被災箇所位置図



〔道路〕 法面崩落  
小野四倉線



〔道路〕 路面崩落  
豊間四倉線



〔道路〕 橋台背面崩落  
久之浜停車場線



〔道路〕 路肩崩落  
湯ノ岳別所線



〔道路〕 橋脚損傷  
植田跨線橋



〔河川〕 堤防亀裂  
仁井田川



〔河川〕 堤防亀裂・崩落  
滑津川



〔河川〕 護岸倒壊  
湯長谷川



〔海岸〕 堤防倒壊  
平海岸(豊間海岸)



〔海岸〕 堤防倒壊  
薄磯海岸(背後は豊間四倉線)



〔海岸〕 堤防倒壊  
勿来海岸(背後は泉岩間植田線)

## 被災状況写真



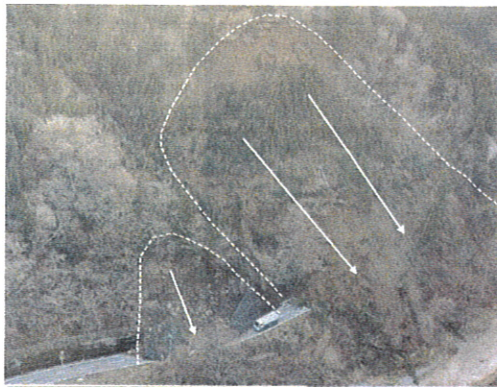
①いわき市田人町石住



②いわき市川部町



③いわき市渡辺町上釜戸



④いわき市田人町才鉢



⑤いわき市田人町黒田



断層の出現



4月11日地震による  
被災状況写真

# 豊間海岸



被災状況1



被災状況2



被災状況3



被災状況4

# 薄磯海岸



遠景



被災状況1



被災状況2



被災状況3

# 久ノ浜海岸



遠景



被災状況1



被災状況2



被災状況3

# 岩間海岸



遠景



被災状況1



被災状況2



被災状況3

# 四倉海岸



被災状況1



被災状況2

# 沼ノ内海岸



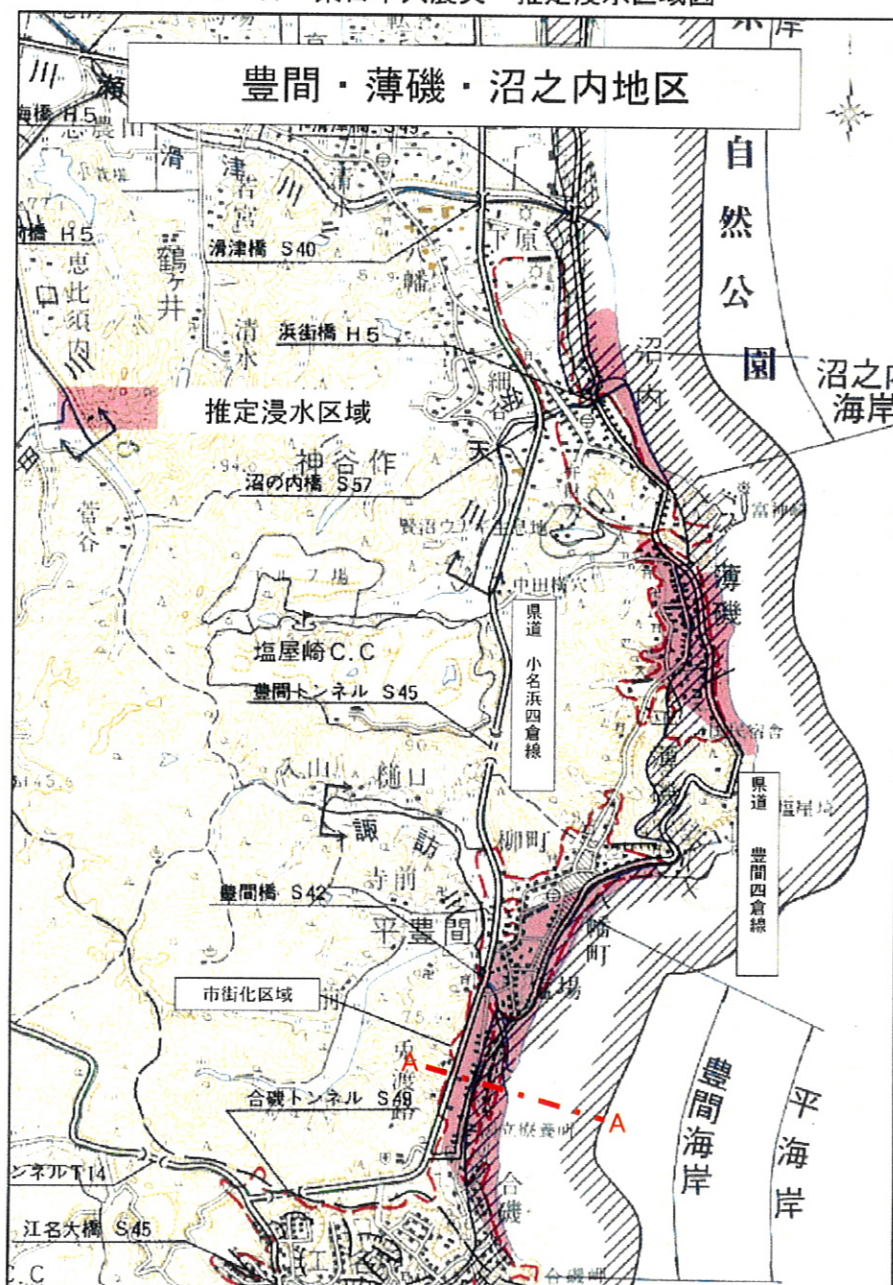
被災状況1



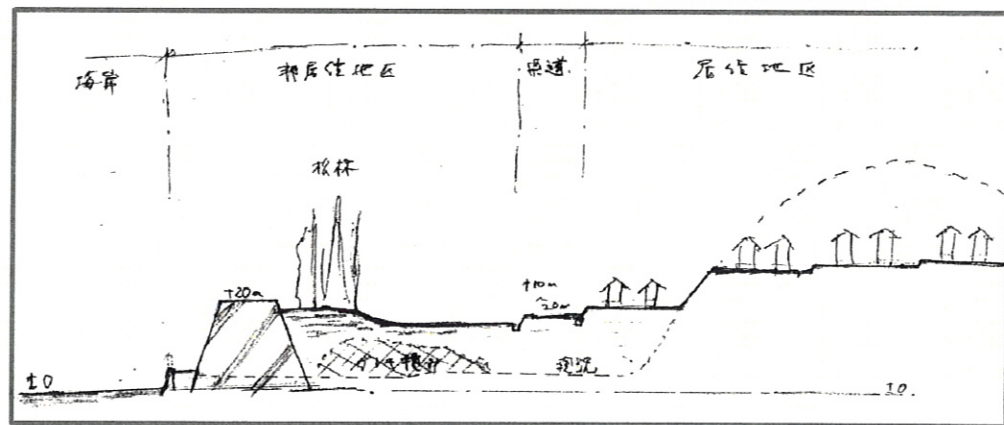
被災状況2



3・11 東日本大震災 推定浸水区域図



地元住民が作成した復興計画案 (A-A)



# 沿岸部の土地利用状況



沼之内地区



豊間地区



# 東日本大震災による 小名浜港の被災状況について

---

福島県小名浜港湾建設事務所  
平成23年5月19日



# 小名浜港航空写真

2010.7撮影



# 小名浜港の役割

## 1. 小名浜臨海工業地帯を支える国際物流拠点 : 3号ふ頭～大剣ふ頭

1) **エネルギー関連** .. 火力発電所など燃料(石炭、原油など)の輸入基地 → **石炭年間600万トン**  
(3号、6号、7号、大剣ふ頭) **原油年間130万トン**

※利用企業: 常磐共同火力(株)、東京電力(株)、サミット小名浜エスパワー、グリーンコールパワー研究所など

2) **工業原材料** .. 銅精鉱、亜鉛鉱ほか工業原料の輸入基地 → **金属鉱年間110万トン**  
(3号、4号、5号、7号ふ頭) ※利用企業: 小名浜製錬(株)、東邦亜鉛(株)、(株)クレハなど

3) **コンテナ貨物** .. 製材、タイヤ、化学工業品、自動車部品など → **年間2万TEU**  
(大剣ふ頭) ※利用企業: 主にいわき、県南、県中、北関東の各地方の企業

**H22 年間貨物取扱量 1,480万トン**

## 2. 観光の拠点: アクアマリンパーク

年間 **約250万人**の観光客が訪れる県内有数の観光拠点

- ①「アクアマリンふくしま」..H12オープン後10年目で、まもなく1,000万人目の入館者を迎える
- ②「いわき・ら・ら・ミュウ」..H9オープン、地元産の魚市場とレストラン、旅客ターミナル施設
- ③「小名浜さんかく倉庫」..H20.4にオープン、既存倉庫2棟を改良しイベント開催など市民活動の拠点

※周辺はボードウォーク、休憩施設、公園など整備され、花火大会、フリーマーケット等が開催

## 3. 水産業の基地: 漁港区

いわき沖合は、**親潮と黒潮がぶつかる潮目**により**豊かな漁場**が形成されており、**漁業が盛んである**。  
【水揚量 13,800t 出荷額21億円 (H21)】 → さんま、カツオ、まぐろ、いわしなど多種多様な魚が水揚

# 東北の製造拠点（福島県、いわき市、小名浜地区）

**福島県**は東北地方の製造品出荷額の約3分の1を占めており、東日本を代表する工業県です。

平成20年 工業統計表「市町村編」データ H22. 5. 14公表値

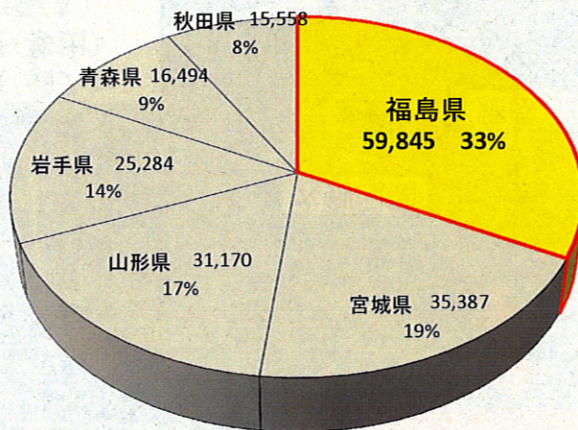
順位	県名	製造品出荷額等(億円)	構成割合
1	<b>福島県</b>	<b>59,845</b>	<b>32.6%</b>
2	宮城県	35,387	19.3%
3	山形県	31,170	17.0%
4	岩手県	25,284	13.8%
5	青森県	16,494	9.0%
6	秋田県	15,558	8.5%

東北地方計 183,739 (18兆3,739億円)

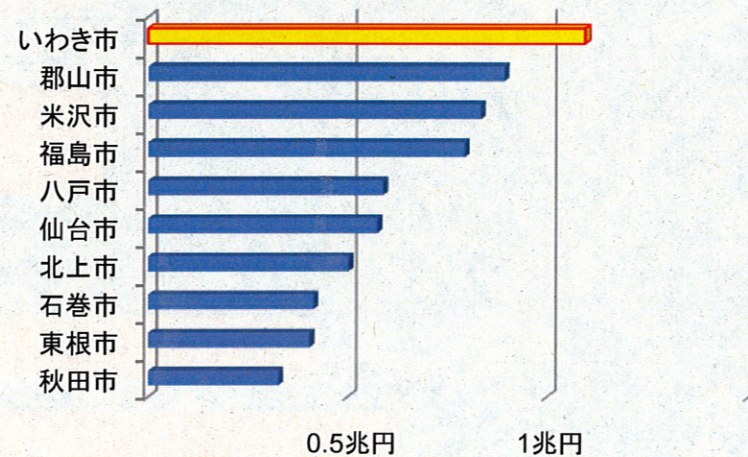
**いわき市**の製造品出荷額は、東北地方の市町村別では**第1位**であり、**唯一1兆円**の大台を超える大工業都市です。

順位	市名	製造品出荷額等(億円)
1	<b>いわき市</b>	<b>10,945</b>
2	郡山市	8,934
3	米沢市	8,350
4	福島市	7,945
5	八戸市	5,891
6	仙台市	5,745
7	北上市	5,025
8	石巻市	4,149
9	東根市	4,055
10	秋田市	3,270

東北地方県別製造品出荷額(億円)



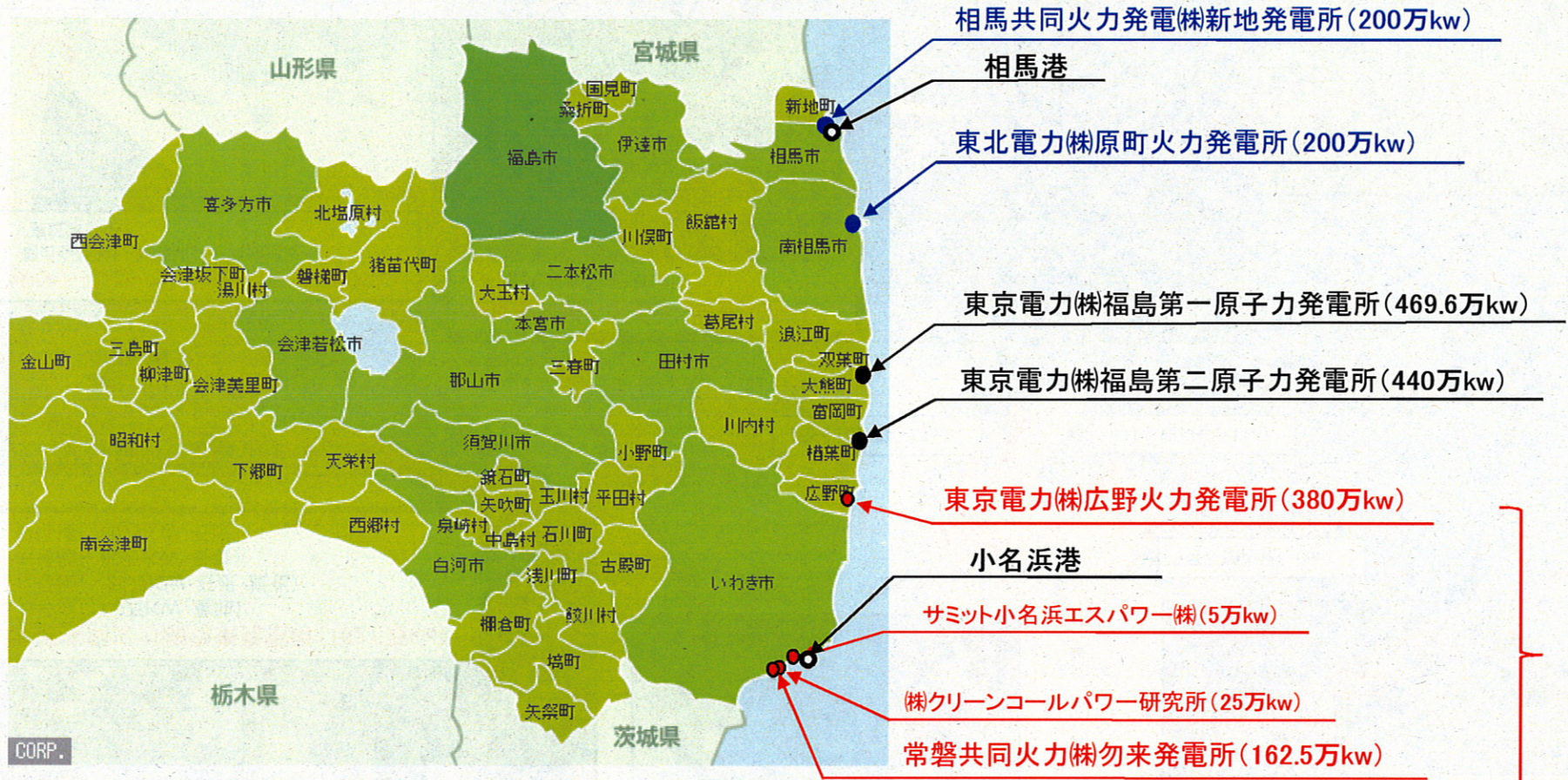
東北地方市町村別製造品出荷額(上位10市)



# 小名浜港周辺に立地する主な企業



# 福島県沿岸部の発電所の立地状況



小名浜港から燃料を輸送

福島県内の発電所の総出力 1,882万kw  
 うち小名浜港関連で572.5万kw(約3割)を占める

# 小名浜港周辺の火力発電所の立地状況



**常磐共同火力(株)勿来発電所 (162.5万kw)**

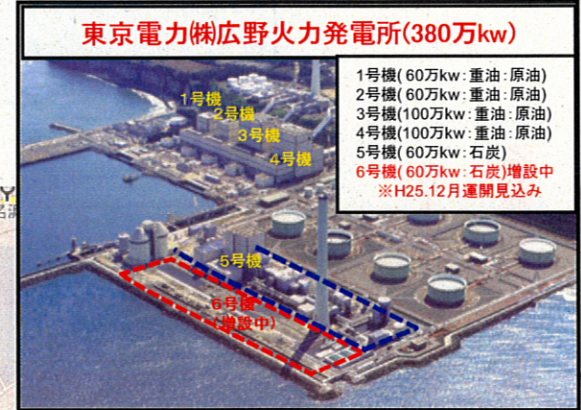
- 6号機 (17.5万KW: 重油)
- 7号機 (25万KW: 石炭・炭化)
- 8号機 (60万KW: 石炭)
- 9号機 (60万KW: 石炭)



**(株)クリーンコールパワー研究所 (25万kw)**  
電力会社9社と電源開発の共同出資  
(実証試験中)

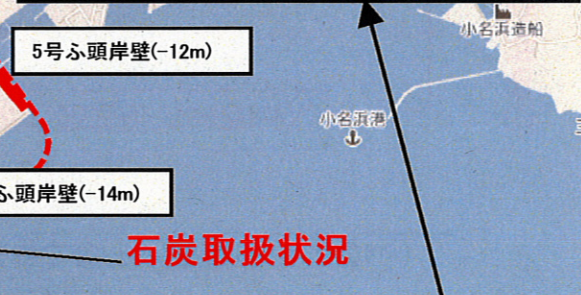


**サミット小名浜エスパワー(株) (5万kw)**  
住友商事、日本海水による電力小売り用発電所



**東京電力(株)広野火力発電所 (380万kw)**

- 1号機 (60万kw: 重油: 原油)
  - 2号機 (60万kw: 重油: 原油)
  - 3号機 (100万kw: 重油: 原油)
  - 4号機 (100万kw: 重油: 原油)
  - 5号機 (60万kw: 石炭)
  - 6号機 (60万kw: 石炭) 増設中
- ※H25.12月運開見込み



**東京電力(株)小名浜コールセンター**  
広野火力発電所向け

6号ふ頭岸壁(-14m)

7号ふ頭岸壁(-7.5m)

既設貯炭場 (2パイル)

拡張予定 (2パイル)



石炭取扱状況



小名浜港

# 震災による臨海部産業への影響

## 1. 火力発電所の停止による影響

小名浜港周辺の発電能力: 572.5万kwが停止(約200万世帯分に相当)

一家庭当たり30A(100v)と想

### 《小名浜港周辺の火力発電所》

東京電力(株)広野火力発電所	380万kw (60万kw)
常磐共同火力(株)勿来発電所	1 62.5万kw(145万kw)
(株)クリーンコールパワー研究所	25万kw (25万kw)
サミット小名浜エスパワー(株)	5万kw (5万kw)
合計	572.5万kw(235万kw)

( )書きは石炭発電



今回の震災により小名浜港から燃料となる石炭、重油、原油の供給がストップ

## 2. 他の企業の製造停止等による影響

1) 小名浜地区の製造品出荷額**4,550億円**(いわき市全体1兆945億円の**4割**)

2) " の従業員数 **7,700人**(いわき市全体27,300人の**3割**)

平成20年 工業統計表「市町村編」データより

震災により操業を停止している企業が多く、大きな損害を被っている。

# 小名浜港周辺沿岸域の津波痕跡調査結果



浸水高は(独)港湾空港技術研究所、国土技術政策総合研究所による調査  
 浸水エリアは国土交通省東北地方整備局小名浜港湾事務所による調査

# 港湾施設被災状況（3号ふ頭）



岸壁法線はらみ出し(1m以上)2011.3.29



レール蛇行、荷役機械傾斜2011.4.13



先端護岸亀裂2011.3.14



台船乗り上げ2011.3.24

# 港湾施設被災状況（5号ふ頭）



荷役機械先端部損傷2011.3.29



レール基礎蛇行2011.3.22



岸壁背後の沈下(最大75cm)2011.3.23



荷役機械脱輪2011.4.11

# 港湾施設被災状況（6号ふ頭）



岸壁背後の沈下(最大75cm)2011.3.22



先端護岸の滑動(最大4m以上)2011.4.11



先端護岸崩落2011.3.24



先端護岸側陥没2011.3.29

# 港湾施設被災状況（7号ふ頭）



岸壁法線はらみ出し(最大1m)2011.3.22



荷役機械レール蛇行2011.3.22



岸壁背後の沈下2011.3.22



先端護岸2011.3.22

# コンテナバースの被災状況（大剣ふ頭）



多目的クレーン傾斜2011.3.14



ガントリークレーン脚部損傷2011.3.14



岸壁背後の沈下(40cm)2011.3.14



コンテナずれ2011.3.14

## アクアマリンパーク被災状況



ウッドデッキ崩壊2011.4.8



津波による浸水の模様2011.3.11

## 漁港区被災状況



岸壁に乗り上げる漁船2011.4.8



岸壁に乗り上げる漁船2011.4.8

# 震災直後に小名浜港が果たした役割（1）

震災により小名浜港へ通ずる多くの陸路が絶たれる中、  
震災後5日目に緊急物資受入用岸壁を供用開始。

## <緊急物資輸送船等入港実績>

- 3/11 被災
- 3/16 緊急物資受入用岸壁供用開始
- 3/18 長崎丸(長崎県)
- 3/18 おおすみ(海上自衛隊)
- 3/18 第二熊野丸(いわき市漁協)
- 3/19 福島丸(福島県)
- 3/19 湘南丸(神奈川県)
- 3/21 海王丸(航海訓練所)
- 3/22 あまぎ(海上保安庁)
- 3/22 くにさき(海上自衛隊)
- 3/24 海翔丸(国土交通省)



長崎丸の荷揚げ状況



おおすみ(海上自衛隊)からホバークラフトで荷揚げ



海翔丸(国交省)入港状況

## 震災直後に小名浜港が果たした役割（２）

震災後の啓開作業により約半月でタンカーを入港させ、ガソリン等燃料不足に対応

小名浜港は概ね半径100kmエリアのガソリン等燃料供給拠点として機能していたが、震災後、港湾施設が一時的に利用できず、ガソリンなどの燃料不足に。



燃料輸送タンカーを入港させるため、緊急的に港内の啓開作業を実施。

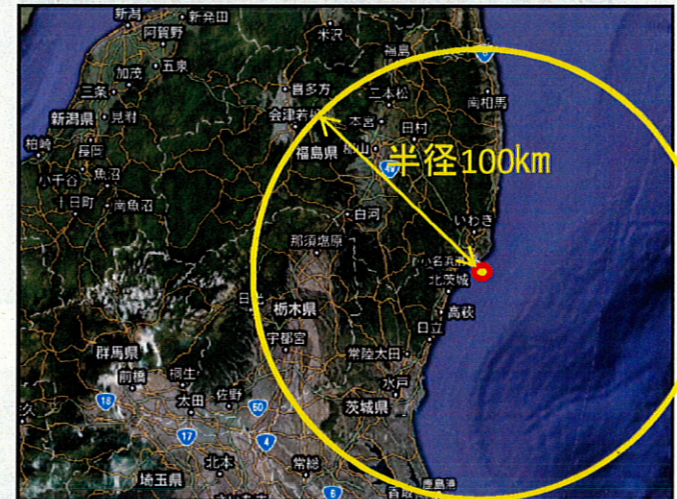


平成23年3月29日（火）ガソリンを満載したタンカー「第三近祥丸」が大剣ふ頭に入港。（約半月振り）



以降1日1～2隻ペースで入港しておりガソリン等燃料不足を解消。

※第三近祥丸による運搬量2千キロリットル（大型タンクローリー100台分）は、平成23年3月26日に陸送（JR貨物）による運搬量600キロリットルの3倍強であった。

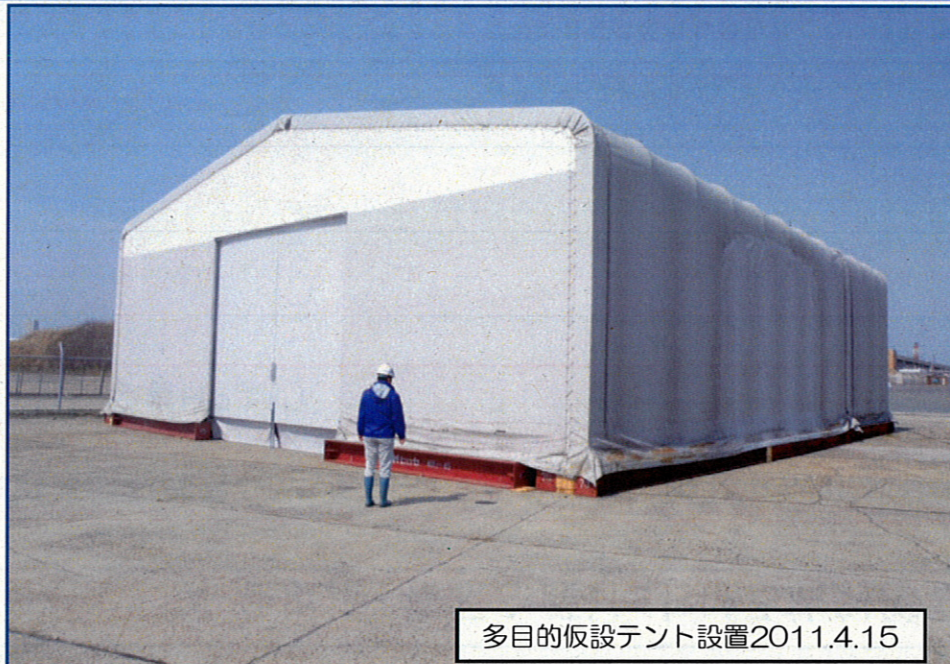


小名浜港から半径100km圏内にガソリン等を供給



震災後第一船目となる「第三近祥丸」の荷揚げ状況

# 震災直後に小名浜港が果たした役割（3）



多目的仮設テント設置2011.4.15



港内の漂流物仮置場2011.4.18



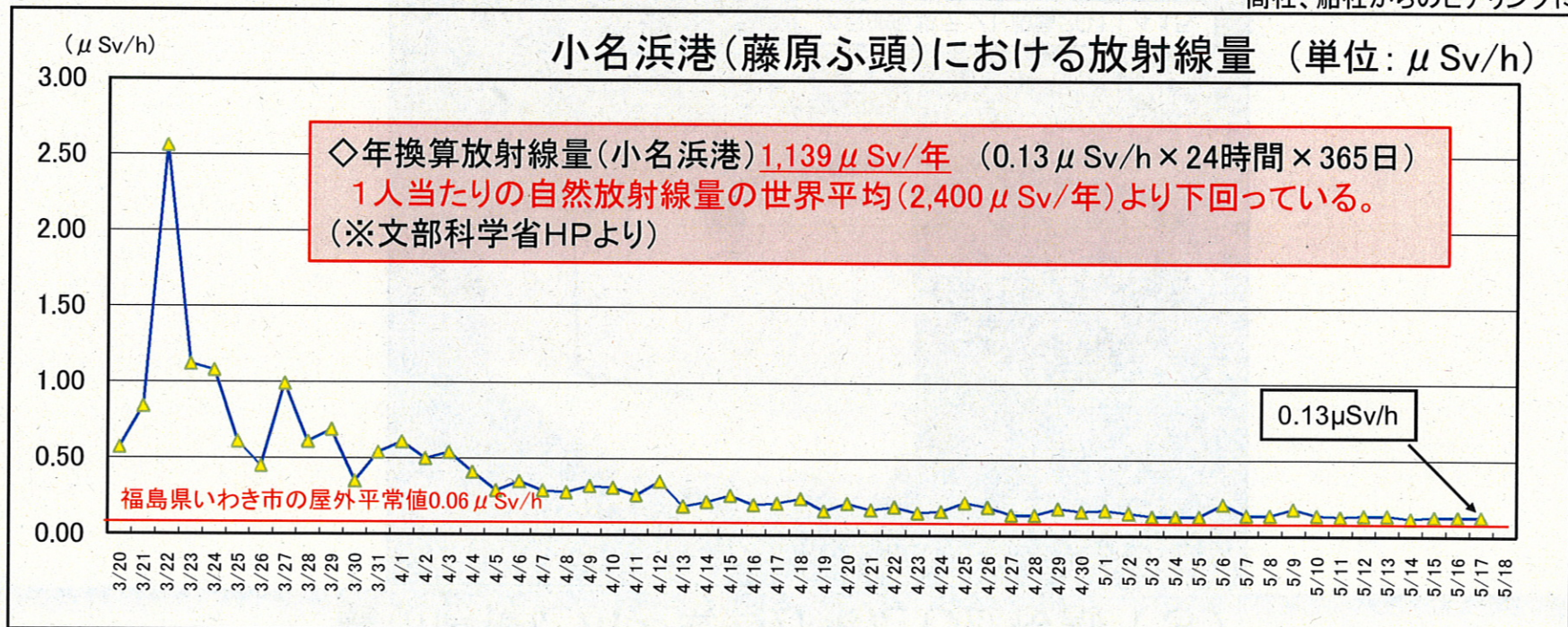
漂流船の係留場2011.4.18

# 原子力発電所事故による風評被害

小名浜港の放射線量は平常値に近づきつつあり、人体への影響が殆ど無い状況にも関わらず、風評被害が発生しており港湾への影響が懸念される。

- 船主が福島県の港湾への寄港を敬遠。
- 福島県の港湾への寄港に際し、エクストラコストがかかった場合、用船者負担とする「放射能条項」を用船契約の中に盛り込む動きがある。
- 船員の多くはフィリピン人であるが、4月12日の原発事故のレベル7への引き上げとともにフィリピン外務省が「福島原発から50km以内に住むフィリピン人に強制退避を、50kmから100km圏内に住むフィリピン人に任意退避」を呼びかける声明を発出したことも原因し、船員が集まりにくい状況。
- バラスト水を問題視する国もあり、公海上でのバラスト水入れ替えを求められることもある。

商社、船社からのヒアリングによる








# 小名浜港 施設復旧状況 (平成23年5月13日15:00現在)

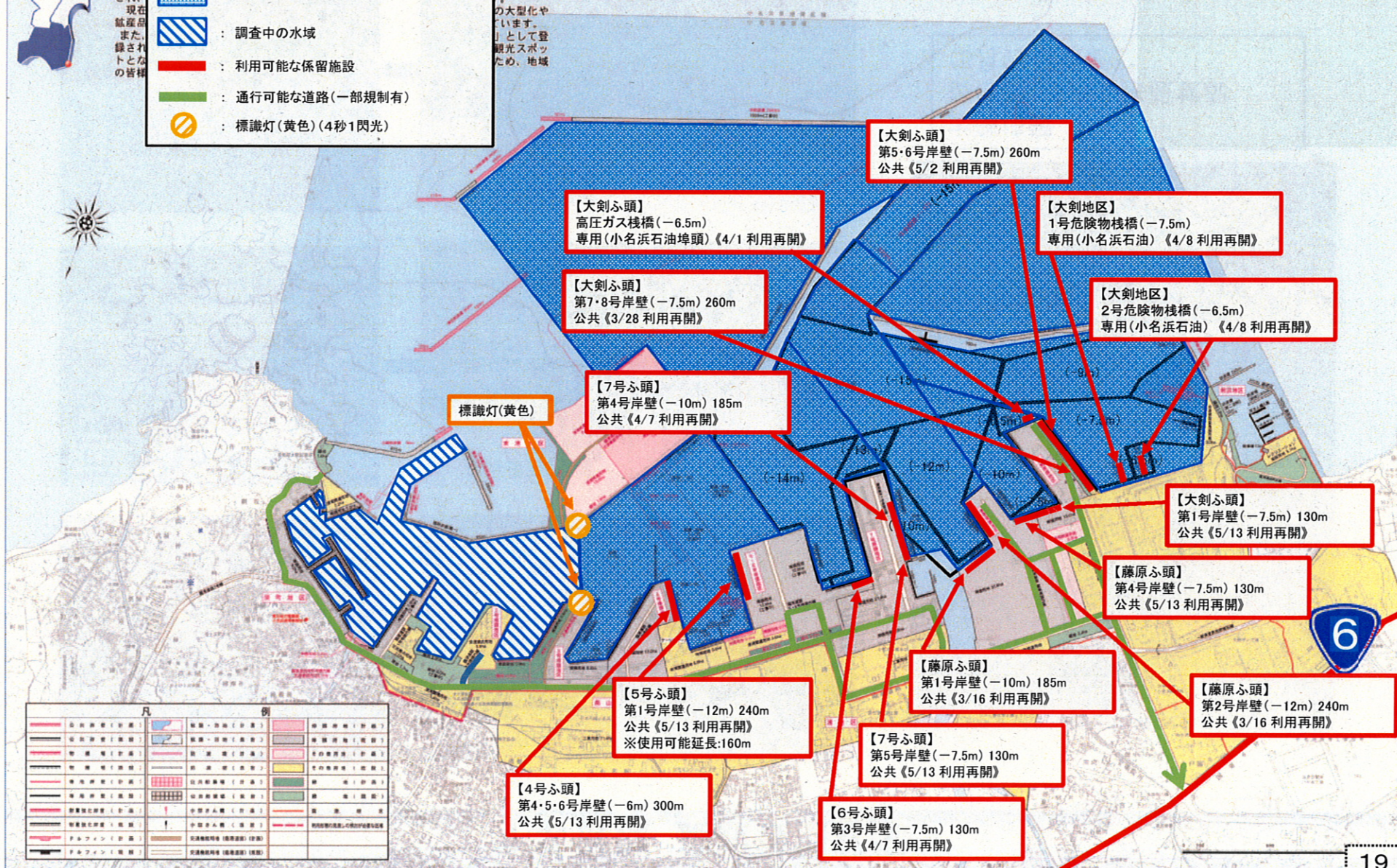
## 小名浜港

重要港湾

小名浜港は、太平洋に面する福島県南端のいわき市に位置し、福島県及び南東北の物流拠点として発展しています。港で取り扱う貨物は、石炭、石油、金属鉱などの鉱産品が主です。現在、鉱産品が大型化や高圧化が進んでおり、また、記録的な豪雨のため、地域

-  : 航行可能な水域
-  : 調査中の水域
-  : 利用可能な係留施設
-  : 通行可能な道路(一部規制有)
-  : 標識灯(黄色)(4秒1閃光)

福島県 小名浜港湾建設事務所  
国土交通省 東北地方整備局 小名浜港湾事務所  
福島海上保安部



凡	例
航行可能な水域	調査中の水域
利用可能な係留施設	通行可能な道路(一部規制有)
標識灯(黄色)(4秒1閃光)	

# 小名浜港 施設復旧状況



震災直後  
(3月12日撮影)

現在  
(5月9日撮影)




大剣埠頭  
多目的クレーン移設状況  
(5月17日撮影)

# 福島県小名浜港湾建設事務所ホームページ

●小名浜港湾建設事務所のホームページでは、トピックスの更新による小名浜港の近況報告や毎日の環境放射能測定結果の掲載による港の安全情報の発信を行っています。

福島県ホームページ - 組織別 - 小名浜港湾建設事務所トップ 1/2 ページ



**知事のページ** 小名浜港湾建設事務所トップ

**企業立地情報** トップページ > 組織別 > 土木部 > 小名浜港湾建設事務所 > 小名浜港湾建設事務所トップ

**定住・地域居住情報** 小名浜

**観光情報** 最終更新日:平成23年5月18日

福島の特産品  
福島の観光  
福島空港  
(広告)

**東邦銀行**

ふくしま安全安心  
おまかせナビ

ふくしま暮らし  
暮らしナビ

**防災・医療情報**

防災情報  
医療機関・薬局検索  
子ども救急電話相談  
道路・河川関係情報

**便利情報**

ふくしまエンゼルネット  
うつし家、ふくしまっか

**ご意見ご相談**

**県議会のページ**

**子どものページ**

**県民からのお知らせ**

県民のすぐた  
イベントカレンダー  
入札  
県政広報  
職員採用  
県政講座  
関連リンク

**電子サービス**

電子印刷物  
電子県庁  
メールマガジン  
県報  
RSS配信

ENGLISH CHINESE KOREAN

最新情報 | 組織概要 | 港の概要 | サイトマップ | リンク集 |

※ トピックス【コンテナターミナル再開の目処が立ちました!!】(クリックしてください。詳細が見られます。)

I 【小名浜港の復旧状況】(クリックしてください。画像が見られます。)

II 【港湾施設の復旧状況】(クリックしてください。画像が見られます。)

一般の目録へ 企業の目録へ データベース 建設地調査  
大規模工事

**日本語版**

**小名浜港は安心して入港していただけます**

小名浜港の放射線量は常にモニターされています。

【平成23年5月17日公表】

◎環境放射能測定値

0.13	(17日12時10分現在)	0.11	(17日16時33分現在)
マイクローベト毎時		マイクローベト毎時	

※「環境放射能測定結果」(福島県が測定)

福島県ホームページ(管理版) -平成22年度東北地方太平洋沖地震による被害調査  
第一県内河川環境放射能調査結果  
<http://www.pref.fukushima.jp/>

【平成23年5月 8日公表:7日測定値】

◎海上放射線量

0.010~0.013	マイクローベト毎時
-------------	-----------

※「福島第一原子力発電所周辺海域モニタリング」(文部科学省が公表)

文部科学省ホームページ -東日本大震災関連情報-福島第一原子力発電所周辺のモニタリング結果  
[http://www.mext.go.jp/a\\_mext/saigajohou/kyousei/1304148.htm](http://www.mext.go.jp/a_mext/saigajohou/kyousei/1304148.htm)

(※それぞれのアドレスをクリックすると、公表データのページが開きます。)

**English**

**Nuclear Radiation in Onahama Port is not high enough to worry**

Nuclear radiation in Onahama Port is always monitored.

【Value measured on 7th of May, 2011】

◎Environmental Radioactivity

0.13	(as of 12:10pm)	0.11	(as of 4:33pm)
micro Sv/hr		micro Sv/hr	

※Source「Monitoring of Environmental Radioactivity」Fukushima Prefecture  
<http://www.pref.fukushima.jp/>

【Value measured on 7th of May, 2011】

◎Radioactivity

0.010~0.013	micro Sv/hr
-------------	-------------

福島県ホームページ - 組織別 - 小名浜港湾建設事務所トップ 2/2 ページ

Offshore

**0.010~0.013**

※Source「Readings of Sea Area Monitoring at Post Out of Fukushima Dai-ichi NPP」JEMX  
[http://www.mext.go.jp/a\\_mext/saigajohou/kyousei/1304148.htm](http://www.mext.go.jp/a_mext/saigajohou/kyousei/1304148.htm)

(You can access to the original data clicking the links shown above.)

福島県小名浜港湾建設事務所は、いわき市の港湾・漁港を建設、管理、運営しています。

**最新情報**

- ※2011年4月8日 小名浜港湾建設事務所の移転について
- ※2011年4月7日 港湾課ホームページ(小名浜復旧後の情報)掲載
- ※2011年2月23日 平成22年度入札結果を更新しました。
- ※2011年2月14日 アクアマリンパークの利用状況(1月分)を掲載しました。

[more](#)

<小名浜港湾建設事務所 行動基準(スタンダード)>  
～県民の皆様への約束～

1. 私たちは、笑顔で挨拶、さわやかな対応をします。
2. 私たちは、丁寧で分かりやすい説明、積極的な応答をします。
3. 私たちは、苦情・要望には感謝の気持ちで現場臨場、迅速に対応します。
4. 私たちは、港の効率的な利用を促進し、地域の振興を図ります。
5. 私たちは、常に危機意識を持って、速やかに対応します。

<連絡先>  
小名浜港湾建設事務所  
〒971-8101 福島県いわき市小名浜字橋附35  
(旧 ひまわり信用金庫本町支店)  
電話:0246-53-7118(総機直通)  
FAX:0246-53-7130  
onahama.ktw@pref.fukushima.jp

個人情報取り扱いについて リンク集・お問い合わせについて 福島県ホームページについて ホームページに関するアンケート

福島県庁  
〒960-8676 福島県福島市杉妻町2-16 電話:0246-21-1111(代表) メールはこちらへ

[前のページに戻る](#) [ページの先頭へ](#)

Copyright (C) Fukushima Prefecture. All rights reserved. 各ページに掲載の写真・音声及び記事の無断転載を禁じます。

[http://www.wcms.pref.fukushima.jp/pcp\\_portal/PortalServlet.jsessionid=628C7D987D5...](http://www.wcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/PortalServlet.jsessionid=628C7D987D5...) 2011/05/18

[http://www.wcms.pref.fukushima.jp/pcp\\_portal/PortalServlet.jsessionid=628C7D987D5...](http://www.wcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/PortalServlet.jsessionid=628C7D987D5...) 2011/05/18

[http://www.wcms.pref.fukushima.jp/pcp\\_portal/PortalServlet.jsessionid=628C7D987D5BDAF5AC3B9623D8FC845C?DISPLAY\\_ID=DIRECT&NEXT\\_DISPLAY\\_ID=U000004&CONTENTS\\_ID=10890](http://www.wcms.pref.fukushima.jp/pcp_portal/PortalServlet.jsessionid=628C7D987D5BDAF5AC3B9623D8FC845C?DISPLAY_ID=DIRECT&NEXT_DISPLAY_ID=U000004&CONTENTS_ID=10890)



# 東日本大震災による 四倉漁港の被災状況について

---

福島県小名浜港湾建設事務所  
平成23年5月19日

# 四倉漁港航空写真（被災前）



# 四倉漁港被災状況



被災した海水浴場のトイレ



被災した道の駅よつくら港



被災した道の駅・交流館

## 「道の駅よつくら港」

- 供用開始 : 平成22年7月にグランドオープン  
(昨年末に来館者数30万人突破)
- 管理・運営 : NPO法人よつくぶ(地元まちづくり団体)
- 主な施設 : 交流館(直売所、地元料理など)  
情報館(地域のイベント、文化などの  
情報発信基地)

被災後、4月16日より(土日のみ)  
直売所(野菜など)を供用開始、復興に向け  
て着実に前に進んでいます

# 四倉漁港被災状況



岸壁の亀裂



ずれた岸壁



被災した倉庫



亀裂の入った港内道路